

道の駅常陸大宮 ～かわプラザ～ 開業



3月25日、道の駅常陸大宮（愛称：かわプラザ）がオープンしました。

オープン前日の24日には、来賓として橋本茨城県知事や鈴木県議会議員などが出席し、竣工式が行われました。

竣工式：24日

式典の後、道の駅玄関正面でテープカットが行われ、出席者はゆずサイダーで乾杯しました。
その後、内覧会が行われました。



▲竣工記念式典



▲テープカット



▲ゆずサイダーで乾杯

オープニングイベント：25日

9時のオープンに合わせてくす玉が割られ、多くの来場者とともに開業を祝いました。



▲くす玉が割られました



▲色とりどりの風船が青空に舞い上がりました



▲来場者を出迎えました

26、27日イベント

2日間とも、市の郷土芸能や吹奏楽の団体などが演奏を披露し、来場者からたくさんの拍手が送られていました。また「常陸大宮B級グルメグランプリ店」が出店し、本市の食をPRしました。



▲朝早くから駐車場も満車になりました



▲常陸大宮市吹奏楽団の演奏



▲農産物直売所也大盛況

「道の駅 常陸大宮」～かわプラザ～

交 通：常磐自動車道那珂ICから車で30分

営 業 日：年中無休 9～18時

駐 車 場：普通130台、大型車18台

敷地面積：55,884㎡ 施設面積：2,759.1㎡

〒319-2211 常陸大宮市岩崎717-1

元気な郷づくり株式会社（管理運営会社）

☎0295-58-5038（ゴーオーミヤ） fax0295-58-5039

2/28

まちづくり団体が意見を交換しました

市内で様々な活動を行っている団体や個人を、緩やかにつなぐ「常陸大宮市まちづくりネットワーク大会」が開催されました。開会前には、久慈川でとれた鮎を使った鮎めしが提供され、美味しい食事に参加者の皆さんからは笑みがこぼれていました。

【第1部】 2015年常陸大宮市まちづくりネットワークの活動報告
ネットワーク登録各団体の2015年の活動報告

【第2部】 2016年度常陸大宮市まちづくりネットワークの主な活動について
市内を案内できる地域案内人育成について

【第3部】 ワークショップ

活動報告の様子▶



▲市の魅力について話し合った
第3部のワークショップ

当日は100人ほどの参加者でにぎわい、お互いの活動に対する情報交換や、ネットワークとしてのまちづくりへの参加などについて、意見交換を行いました。

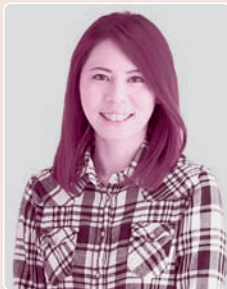
特に第3部のワークショップでは、参加者がグループに分かれキーワードにそった市内ツアーを企画するというもので、初対面の人でも知り合い同士も皆さん一緒に、本市が持つ食・土地柄・環境・観光などの魅力について話し合いました。その後意見をまとめ、グループごとに魅力的なツアーを発表しました。

このワークショップで作成されたツアー内容は、市役所1階ロビーで掲示しますので、ぜひご覧ください。

展示期間 5月9日（月）～20日（金）



いっしょにまちづくり



西脇 まりこさん

昨年からは、常陸大宮駅前のコミュニティカフェパンホフで、様々な分野のプロが講師を務める市民主催の講座が開かれています。これまでに行われたのは、本市出身の講師による写真、デザイン、ジャズ、PRの教室です。仕事に活かしたい、趣味を充実させたい、好奇心など、参加の動機は様々です。知識やテクニックを教わるだけでなく、第一線で活躍しているプロの経験談など、ここだけの貴重なお話が聞けるとあって、市外からも大勢の受講者がいらっしゃいました。私も4つすべての教室に参加しました。参加者同士の交流もあり、受講後は「活かしたい」「役立てたい」という強い意欲が湧きました。新たな学びの場として、今後も様々なジャンルの講座が開催されるそうです。気軽に参加してみたいはいかがでしょうか。

インターネットテレビ「チャンネル038常陸大宮TV」で講座の一部を動画配信中です。
→<http://www.h038tv.com/>

3/12

結婚応援講演会

市文化センターで、ひたちおおみや結婚応援講演会が開催されました。

講師に、未来デザインコンサルタントの若尾裕之氏を迎え、「『結婚したい』と思われる人の共通点」と題し、結婚は究極の対人関係である、人生の最期から逆算して自分の人生をデザインしようという話がありました。参加者からは「結婚に向けて、プラス思考で行動することの大切さを教えてもらいました」などの感想がありました。講演会終了後には、結婚相談会も実施されました。



▲結婚するためのポイントを紹介する若尾先生

3/13

マタニティのつどい

緒川総合センターで「ハッピー子育てひたちおおみや『マタニティのつどい』」が開催され、約250人が来場しました。トークイベントでは、3人の父親でもある杉浦太陽さんを迎え、子育てに対する考え方や、家族が笑顔になる秘訣など、実体験を交えた話を披露しました。「子どもと同じ目線で遊ぶ」という杉浦さんの話に、来場者はうなずいたり笑顔になったりしながら聞き入っていました。また特別ブースでは、光畑由佳先生による子育て相談やピジョン株式会社と有限会社モーハウスの協力で、授乳服やベビー用品の展示が行われました。



▲サイン色紙を参加者にプレゼントする杉浦さん

2/27

滝ノ上遺跡現地説明会

昨年12月から今年の3月にかけて、三美地内で、畑地帯総合整備事業に伴う滝ノ上遺跡の発掘調査が行われました。その調査成果を披露するため現地説明会が行われ、天候にも恵まれて、地元住民や関東近辺から、約110人が集まりました。

この遺跡では、これまでの調査で縄文時代の集落跡があることが知られていました。今回も、縄文時代半ばとなる5,000～4,000年前の住居の跡や、食料の貯蔵穴やお墓などの竪穴が、数多く見つかりました。これらのことから、那珂川を望む台地上の、当

時の生活環境の良さがうかがえます。調査成果は、今後まとめられて公開されますので、ご期待ください。



調査員による
状況解説▶

2/18

本西の内紙が県指定無形文化財に

昨年7月、地元産楮のみを使用して、化学薬品等を用いず、伝統的な用具・技術で手漉きした“本場の西の内紙”を守ろうと結成した「本西の内紙保存会」。今年度、県指定無形文化財の保持団体に追加認定されました。認定書交付式では、菊池浩副会長が見守るなか、菊池三千春会長へ県教育長から認定書が手渡されました。

今年度、県興行試験場で実施した、紫外線カット率や強度・通気性などの試験では、処理剤や原料が異なる他紙と比較して、伝統的な西の内紙が各段に優秀であることが証明されました。この優れた伝統を、今後どのように活かし伝えていくか、本市の課題でもあります。



▲認定書交付式：菊池三千春会長（左端）

3/17

市民との協働に向けて

「市民との協働～協働の可能性を感じよう～」と題し、市職員を対象とした研修会を実施しました。講師には、茨城NPOセンター・ commonsの大野事務局長を迎え、協働の形態や事例に触れながら、その可能性や活動のヒントについて学びました。

後半には「協働」を推進するうえでの課題や、そのために市として、個人として何ができるのか、というテーマで日頃の業務を振り返りつつ、職員同士で意見交換を行いました。

地域課題の解決という共通目的を達成するために、今後も市民や市民団体等と行政が連携していくことの重要性を再確認することができました。



▲研修会の様子

3/23

新しい福祉車両が導入されました

市社会福祉協議会が運営する障害福祉サービス事業所「太陽」で、公益財団法人日本財団の助成を受けて、車いす対応の福祉車両を購入しました。同事業所では保有する送迎車両2台のうち1台が老朽化し、頻繁に修繕していました。購入した福祉車両は、日産自動車製のキャラバンで、2台の車いすと運転手を含め10人が乗車でき、車両後部ドアを開けると車いすの自動昇降リフトも付いていることから、利用者の送迎等に利用されます。

納車式では、日本財団の代理人として、日産プリンス茨城販売株式会社の草野浩一大宮店長から三次会長にレプリカキーが手渡され、利用者が試乗等を行いました。



▲車両の中を見学しました

3/25

「奥久慈なす」に注目

常陸農業協同組合なす部会連絡会（梶山肇司会長）の生産する「奥久慈なす」が、県北地域で初めて銘柄産地に指定され、指定証の交付と表彰式が行われました。

「奥久慈なす」は、出荷規定が厳格化されているため、市場等での品質評価は高く、収益性も高いと若手農業者も注目する銘柄です。なす部会連絡会では、昭和63年頃から軽量で高齢者や女性にも扱いやすいなす栽培を導入し、新規栽培者の確保・育成が図られてきました。近年では、レシピを作成するなどPRに努めています。



▲表彰式の後、記念撮影

お宝発見事業の第6回を実施しました。最終回となる今回は18人が参加し、本市に伝わる民話について学びました。

まず茨城大学の西野教授から、民話の特徴や楽しみ方などについて話を聞き、その後、民話の舞台となった場所めぐりに出発。「朝日姫と鏡ヶ池」（下岩瀬）、「宇留野のゴキ井戸」（宇留野）、「機織り石」（西塩子）の3つの民話が舞台となった場所で、平島則子さん（いばらき昔ばなし大学再話研究会代表）の語りを聴きま

した。参加者は、平島さんの語り口に引き込まれ、民話の世界を楽しんだ様子でした。

午後は、これまでの体験で学んだことや感想等を話し合いながらまとめ、最後に一人ひとりが修了証を受け取って、今年度の事業すべてが終了しました。

参加した子どもたちは、全6回の体験をとおして、本市をより理解し、ふるさとへの愛着を深めるきっかけをつくることができました。



▲鏡ヶ池の民話を聴く



▲大きな機織り石にビックリ



▲話し合って意見をまとめました

山方地域に、筑波大学増田研究室の教授や学生、海外からの留学生が訪れ、山方林業研究会（通野三郎会長）の皆さんと交流しました。

午前中は、高村喜典氏の畑で^{こうぞ}楮の収穫体験。太いものでは直径3cmほどにもなる楮を協力しながら刈り取り、気持ちよく汗をかきました。

午後からは、家和楽にある炭焼き窯へ移動。学生たちは、研究会の皆さんに質問をしながら炭焼きの様子を見学し、里山の暮らしや習慣に触れることができたようです。



▲手作りのイスとテーブルで昼食

サポーターを 大募集!!

**KENPOKU
ART 2016**
茨城県北芸術祭
2016.9.17-11.20

9月17日（土）から11月20日（日）までの65日間、本市を含む県北6市町で、茨城県初の国際芸術祭「KENPOKU ART 2016 茨城県北芸術祭」が開催されます。

茨城県北芸術祭実行委員会では、アーティストの作品制作や芸術祭の会場運営等の手伝いができるサポーターを募集しています。アートに関心がある方、ボランティア活動に興味がある方、いろいろな人と交流したい方など、多くの皆さんからのご応募をお待ちしています。

参加資格や活動内容の詳細は、下記までお問い合わせください。

茨城県 県北振興課 ☎029-301-2727

常陸大宮市 企画政策課 ☎52-1111（内線310）

WEB <http://kenpoku-art.jp/>

※登録用紙を用意しています。

3/14

教育長賞を受賞

明峰中学校1年（受賞時）の山本優乃さんが、茨城県中学校総合体育大会スキー競技の部（ジャイアントスラローム、スラローム）で優秀な成績を収め、教育長賞を受賞しました。山本さんはこの大会で第2位となり、北海道で行われた平成27年度全国中学校体育大会第53回全国中学校スキー大会に茨城県代表として出場しました。



▲受賞した明峰中学校の山本優乃さん

3/31

県教育委員会から表彰

【村田小学校】

平成27年度小学校理科教科担任制モデル事業のモデル校として、表彰されました。高学年の理科の授業で教科担任制を実施し、「推進地域モデル校」として、公開授業研究会を開催しました。

【上野小学校】

小学校理科教科担任制モデル事業のモデル校として、平成25年度から3年間、小学校高学年の理科の授業で教科担任制を実施し、表彰されました。



▲三智校長
(村田小学校)



▲小林正之校長
(上野小学校)

4/1

地域おこし協力隊

地域の維持・活性化等の推進を図ることを目的に「常陸大宮市地域おこし協力隊」として、4人に委嘱状を交付しました。

地域おこし協力には、人口減少や高齢化が進行する地域で、地域外の人材を受け入れ、協力活動を行ってもらいます。また地域力の維持・強化を図るために、これから4つのミッションに向かってそれぞれ活動を開始します。

隊員は、「地域の人たちと一緒に、力を合わせて課題に取り組んでいこう」と意気込んでいます。

皆さんのご協力、よろしくお願いします。



▲左から志賀瑞穂さん、間瀬邦生さん、木元枝里さん、岩崎文香さん

4/1

市の観光イベントをPR

本市の観光やイベントなどを全国に発信する観光大使に、加藤木あゆみさん（水戸市在住）と木村茜さん（つくば市在住）が選ばれました。

任期は2年間です。

2人は「マスコットキャラクターのひたまと一緒に、自然豊かな常陸大宮市の良さをたくさんの人に知ってほしい」と意気込みを語りました。観光大使としての初めての仕事は、第7回辰ノ口さくら祭りで、それを皮切りに様々なイベント等に参加する予定です。



▲新しい観光大使となった加藤木さん(左)と木村さん(右)

3/21

達川光男さんによる野球教室&講演会

元プロ野球選手の達川光男さんによる野球教室と講演会（主催：常陸大宮市体育協会、常陸大宮市軟式野球連盟）が、西部総合公園で開催されました。

この日は、市内のスポーツ少年団や野球部の中学生たちが集まり、けがをしないためのストレッチ方法やキャッチボール、バッティングなどについて指導を受けました。達川さんの「肘や肩を壊さないためには入念なストレッチが大切」「送球もバッティングも頭を動かさないことが重要」等、厳しいながらも熱のこもった具体的な指導に、子どもたちも熱心に話を聞いていました。



▲バッティングの基本について語る達川さん



▲バッテリーを組む相手には感謝の気持ちが大切と話しました

野球教室に参加した、常陸大宮リトルリーグの本橋優太郎さんは「練習方法がとても参考になった。中学校に行っても今日教わったマエケン体操を続けたい」と話していました。

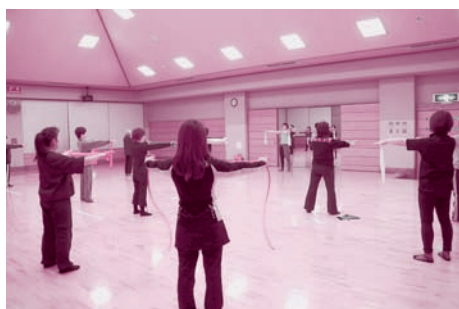
また午後からの講演会には約150人が来場し、現役時代の話を交えながら、「努力しても夢が叶うとは限らない。でも叶った人は必ず努力している」と継続することの大切さについて話しました。

3/17、
24

ゴムバンドトレーニング体験教室

西部総合公園体育館でゴムバンドトレーニング体験教室（主催：スポーツクラブひたまる25）が開催されました。このトレーニングは、ゴム製のバンドで負荷をかけることで、筋力強化だけでなく体のコンディションを整える効果も期待できます。

今回は初心者向けの内容で、始めに入念なストレッチをした後、ゴムバンドでトレーニング。講師の関裕紀子先生の掛け声に合わせて、全身の筋肉を気持ちよく伸ばしました。参加者からは「自分のペースでできるのがよい。先生の分かりやすい指導が良かった」という声がありました。



▲気になる二の腕をトレーニング

スポーツ大会結果

第6回常陸大宮市近郊中学校ソフトテニス大会

開催日：3月12日

主催：一般財団法人常陸大宮市体育協会
家和楽運動公園テニスコート
西部総合公園テニスコート

参加チーム：男子8チーム、女子12チーム

【男子の部】

優勝 那珂市立第三中学校
準優勝 常陸大宮市立大宮中学校
第3位 東海村立東海南中学校
東海村立東海中学校

【女子の部】

優勝 那珂市立第二中学校
準優勝 東海村立東海中学校
第3位 常陸大宮市立大宮中学校
東海村立東海南中学校